

第3回 出雲市総合計画審議会 会議録

1. 開催日時

令和4年2月8日(火) 14時00分から16時00分

2. 開催場所

出雲市役所 3階 庁議室、オンライン (zoom) (ハイブリッド開催)

3. 会議の出席者

(1) 委員 (21名)

■対面参加 (12名)

三吉 庸善会長、吉田 美智子副会長

青山 博之委員、板垣 成二委員、金築 千晴委員、田邊達也委員、萬代 輝正委員、
福島 沙織委員、堀江 泰誠委員、松林 亜希子委員、森山 恵介委員、山本 富子委員

■オンライン参加 (9名)

安喰 愛委員、岡 彩子委員、落合 のり子委員、河上 史子委員、北村 功委員、塩飽 邦憲委員、
高砂 明弘委員、水師 幸夫委員、山根 善治委員

※欠席者1名 (齋藤 茂子委員)

(2) 出雲市

伊藤副市長

藤原総合政策部長、安食総合政策部次長、杉原政策企画課長補佐、廣澤政策企画課係長、
松浦政策企画課係長、濱村政策企画課主任

(3) 総合計画策定支援 委託事業者

(株) バイタルリード 代表取締役 森山、宮下部長、岩崎次長、森山主任

4. 次第

1 伊藤副市長挨拶

2 三吉会長挨拶

3 議事

次期出雲市総合振興計画の素案について

資料

4 その他

今後の策定スケジュール

5. 会議経過

1 副市長あいさつ

事務局（安食総合政策部次長）

それでは定刻になりましたので、ただいまより第3回出雲市総合計画審議会を開催します。

私は、総合政策部次長の安食でございます。本日進行等を務めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

それではまず初めに伊藤副市長からご挨拶させていただきます。

副市長

失礼いたします。本日は、大変お忙しい中お越しいただきありがとうございます。

ご覧の通り、オンラインで9名の方が参加をしていただき、ハイブリッドで本日の会を進めていければと思っております。

そして、新型コロナウイルス感染症は年末年始を超え多くの感染者が出ており、全国的、島根県内、出雲市的にも予断は許さない状況です。デルタ株の時とは違い、全年齢の方が感染し家庭内感染で拡がるということで、以前の対応と趣が違ってきます。65歳以上の方を始め、3回目のワクチン接種も始まっておりますので、薬・ワクチン・新しい生活様式、この3つで皆さんと一緒にこの難局を超えていかなければならないと思っております。

特に飲食、宿泊、交通など感染症の影響を受け、ご承知のように繁華街は真っ暗という状況が続いています。蔓延防止措置は20日までということですが、感染状況によっては延期になるのかどうか、来週1週間前に国からある程度方針が出るのではないかと考えています。感染症対策も地域の経済を見て、県とも連携をしながらやっていきたいと考えています。

先般ご審議いただいた総合計画、基本理念、将来像、基本方策について、そのまま本音のところをたたき上げました。市の庁議の中で本部会議というものを作っています。その中で様々な意見を戦わせながら、今回お示しするような形にまとめたところでございます。今回の審議会で忌憚のないご意見をいただき、これを形にしていきたいと考えていますので、ご審議のほどよろしくお願いいたしますと思います。

なお、本年度の審議会は今回が最後で、第4回を5月に開催する予定としています。3月議会では、本日もご審議いただくものを議員の皆様と意見交換をし、それから市民の皆様にご聴会という形で直にご意見を聴く場面も作ろうと思っております。

年度が変わるとご出身の委員の皆様が変わられることもあると思いますが、これまでの流れもありますので、可能であれば引き続きのご就任をお願いしたいと思います。

簡単でございますが、私のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

2 三吉会長あいさつ

事務局（安食総合政策部次長）

三吉会長、一言ご挨拶申し上げます。

三吉 庸善会長

それでは失礼いたします。本日で第3回出雲市総合計画審議会となりますが、委員の皆様方には本当にお忙しい中お出かけいただきありがとうございます。

また、本日はコロナ禍ということで、一部委員がリモート会議でご参加されています。リモートでご参加の皆様、大変お世話になります。よろしくお願いいたします。

先ほど、副市長からお話があった通りですが、本日は出雲市総合計画の素案について8年間の出雲市をつくる大事な審議会だと思っています。それぞれのお立場におかれまして、ご意見をいただきながら審議会を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。以上です。

事務局（安食総合政策部次長）

<新委員の紹介>

ここで、新委員の紹介をいたします。名簿の19番、森山恵介様です。出雲青年会議所の役員改選により、前任の山崎英樹様から辞任の申し出があり、理事長の交代で今回から森山様にご参加いただくことになりました。森山様どうぞよろしくお願いいたします。

森山 恵介委員

どうぞよろしくお願いいたします。

3 議事

次期出雲市総合振興計画の素案について 資料

三吉 庸善会長

本日の議題「次期出雲市総合振興計画素案について」、まずは承認にあたり、9ページまでをご説明いただき、ご意見の方を賜りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

事務局（杉原政策企画課課長補佐）

次期出雲市総合振興計画の素案について資料から9ページまでを説明

三吉 庸善会長

ありがとうございました。ただいまの9ページまで、ご意見ご質問ありましたらよろしくお願いいたします。

塩飽 邦憲委員

今後の策定スケジュールと基本計画のことでお伺いしたいです。計画の中に前期と後期に分けて目標値KPIを設定するというのが掲げてありますが、これは5月の第4回の審議会でも議論されるということでしょうか。

事務局（杉原政策企画課課長補佐）

基本計画につきまして、基本的にこの審議会で審議するものではありませんが、ある程度お示してきたらと思っています。

現在、市役所内部の調整ワーキングを中心に基本計画を作っています。後程お示しする各施策の基本的方向に基づき、KPIを設定する予定にしています。

塩飽 邦憲委員

全体的に網羅されているのは良いですが、ポイントというか、何に努力するかという方向性が見えにくいと思いましたが、KPIについてご質問させていただきました。

森山 恵介委員

9ページまでが基本構想というイメージで、それ以降の具体的施策が基本計画という位置付けてよろしいでしょうか。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

全てが基本構想になります。基本計画はこれから作ることとなります。

森山 恵介委員

わかりました。詳細の施策が基本計画という理解をしておりました。

それから、7ページ「未来に向けて解決すべき11の課題」について、これまでの分には市民参画の記載があったような気がしますが、今回、方策に「ともに」という言葉が入っているなかで、一連の検証を元にこの項目を外したということであれば教えていただきたいと思います。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

「市民参画のまちづくり」は入っておりませんでした。こちらも基本理念に掲げている通り大変重要なことなので、ぜひ入れるべきだということであれば、11の課題にはこだわってはいないので、またご議論、ご意見いただけたらと思います。

森山 恵介委員

先ほど申した「ともに」というところに、市民主体というイメージを持ったので、そのあたりがあった方が良かったかと思いました。

板垣 成二委員

イラストや写真をふんだんに使い、見て訴える、理解することを相当意識して作ったのではないかと思います。そうであれば、一つ一つのイラストには意味があるだろうと思っています。今日のところはラフ案ということで、できたものを見て考える必要があるかと思っています。

例えば、5ページ、3つの基本理念の「地域の魅力を生かしたまちづくり」で、山に川が流れているところは出雲大社の方ではないでしょうか。これが地域の魅力を生かしたイラストになっているか、どういう意図があってこのようなイラストになっているのか。また、「誰もが活躍するまちづくり」について、子どもさん

からお年寄りまで、障がい者の方もこのイラストに入っているというところで、この辺をどういった意図があってこの絵になっているのか。それから、「持続可能なまちづくり」も、市内のどこに住んでいても安心して快適に暮らすことのできる持続可能なまちづくりを進めますという内容として、この絵が適切か。

8ページ、日御碕や神西湖、ワイナリー、多伎の風車、須佐神社そういったものを連想させるようなイラストは描いてありますが、この辺の意図や説明をお聞かせいただければと思います。

完成形はまた違うと思うのですが、9ページのSDGsは何が書いてあるかわからない。本物はもっとはっきりと読めるようになっていないかと思いますが、ちょっと心配をしています。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

イラストの部分は、いわゆるラフ図ということで下絵ができています。

確かにイラストからくるイメージは非常に大切だと思っていますので、この辺は作り込んでいきたいと思っています。特に8ページについては、将来像の重要な部分なので、明るい未来を感じさせるようなイラストにしたいと思っています。

安喰 愛委員

9ページ施策体系図について「芸術文化スポーツの振興」とあるのですが、最近のスポーツは「見る・する・支える」ということが言われています。今、「ともに支える」にチェックが入ってないですが、ぜひスポーツ芸術文化に対しても支えていただく。皆さんから支援していただくことは大事だと思うので、ぜひ入れていただきたいなと思っています。以上です。

岡 彩子委員

4ページ「出雲市を取り巻く社会状況」の、「価値観やライフスタイルの多様化」で5行目“また高齢者や障害者、LGBT～”と記載がありますが、最近は「LGBTQIA+」といった性自認があるようなので、この表現にするとよりよいのではないかと思います。

また、第2回の審議会の中で、出雲力の定義は「出雲の持つあらゆる力を結集したもの」ですが、6ページでは「出雲の地域特性を出雲力で表します」とありました。これは地域特性ではなく、前回の審議会の際の出雲力の定義と同じように考えていいのでしょうか。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

LGBTの表記については修正したいと思っています。

それから、6ページの出雲力につきまして、おっしゃっていただいたように前回の審議会で定義させていただいた文を地域特性と書いています。出雲力の定義に基づいたもので、イメージを作りたいというのは変わっておりません。よろしく願いいたします。

落合 のり子委員

4ページ「出雲市を取り巻く社会情勢」の「価値観やライフスタイルの多様化」の5行目“また高齢者や障がい者～”と記載のところについて、一般的にこういうことが書かれる時に、まず「女性」が入り、それから

高齢者、障がい者という流れがよくあると思うのですが、ここであえて「女性」が書かれていない理由があるのかお伺いしたいです。

それから、同ページについて、基本的なことかもしれませんが「情報技術の進展」の“DXの取り組みにより～”といきなり略語で出てきているのですが、略語やWithコロナといった言葉は説明や注釈でつくのでしょうか。いきなり出てきているとわかりにくさがあると思います。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

落合委員がおっしゃったように女性活躍については、最近特に言われておりますので、その部分につきましても追記することを検討したいと思っております。

それから、DXについてわかりにくいと思いますので、SDGs等も併せてわかりやすい説明・注釈をつけ、わかりやすい計画に努めていきたいと思っております。

水師 幸夫委員

9ページ「施策の体系図」の施策名に「生涯現役のまちづくり」があります。ここに、「ともに創る」「ともに支える」「ともに育む」とあります。ここに「ともに楽しむ」も追加をお願いしたいです。25ページ「生涯学習等施設利用者数 8年間で2200万人」ということで、“市民生活をより充実したものにするために、学び、楽しみ、人生をより豊かにするために、生涯学習等行える～”と記載があります。現実問題、地域において、特にコミュニティセンターでは一般的に言う「敬老の日」に敬老と言うのを止めて、「生涯学習の集い」をやっています。これは、高齢者の皆様が互いにいろんな意見を述べ、いろんなことを考えながら楽しむという中で成り立ちます。ともに学び、ともに楽しみながら人生を充実したものにしていこうという意味からおいても、「ともに楽しむ」にマーキングをお願いしたいと思っております。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

承知しました。

三吉 庸善会長

それでは、具体的な施策の説明に入りたいと思っております。よろしくご意見致します。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

次期出雲市総合振興計画の素案について資料から10ページからを説明

三吉 庸善会長

ありがとうございました。これまでのところでも説明いただいた部分でも結構です。ご意見ありましたら、どうぞ。

田邊 達也委員

説明の中で、この地で先人達が一生懸命やって来た「観光」が非常に小さく記載されていました。これからもこの出雲市で観光は大きな産業になることは間違いないので、明確に「観光都市をめざす」というような力強い表現をしていただきたいと思います。以上です。

事務局（安食総合政策部次長）

田邊委員のおっしゃったように、観光は出雲にとって大きな産業になっているのは事実ですので、その辺検討させていただき、もう少し庁内で相談させていただき、充実させていきたいと思っております。

安喰 愛委員

先ほど施策の中で「ともに支える」でスポーツを入れてもらえないかという話をしたのですが、出雲市は出雲駅伝を開催しており、全国的にテレビに映る機会があると思います。また、開催にあたって出雲市職員や地域の方々は、大会に向けて協力し、スポーツを支える立場にいらっしゃると思うので、そういった出雲駅伝も入れられて良いと思います。出雲市にとっては大きいイベントで、全国に向けて出雲市をPRしていく中でも一つのイベントだと思うので入れたほうが良いかなと思いました。

もう1点、21ページ「地域内交通対策」について、以前高校生の送迎は保護者の車が多いというお話がありました。バスの利用減少が続いており、維持あるいは持続可能な交通システムを構築していくことですが、なぜ乗る人達が減っているのかを根本的に考えてから、こういった表現にするのが良いかと思えます。もっと魅力あるバスとか、そういった表現が良いのかなと思いました。私たちが高校生の時は、まだ携帯が普及していなくて保護者との連絡が取りづらいうちでバスなどの公共交通手段を使っていました。今は子どもたちがみんな携帯を持っているため、連絡が取りやすく保護者の迎えも良いタイミングで呼ぶことができる。それでそのため、表現の仕方をもう少し考えられてもいいのかなと思いました。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

安食委員のおっしゃるとおり、スポーツに出雲駅伝がないという点は失礼しました。出雲駅伝に限らず一畑薬師マラソンやくにびきマラソンなど、出雲市のスポーツ関係のイベントがありますので、そういったところも入れ、引き続き取り組んでいくという方向性を明記したいと考えております。

事務局（安食総合政策部次長）

地域内交通という話を私からお話したいと思います。委員おっしゃる通り、最近是我々の世代と違い、子供の送り迎えが非常に日常化しています。現在、交通ではこの総合振興計画に合わせ、総合交通計画なる計画を策定することを予定しております。今年度は利用者等のアンケートもっておりますので、交通部門とも協議をし、先ほどのご意見を踏まえて改善できるところの表記方法を検討いたします。

落合 のり子委員

18ページ「ともに支える」の目標数値について、健康寿命の延伸ということで目標値が1年になっていますが、男性・女性それぞれ1年という意味なのでしょうか。目標が達成されたときどう評価するかがわからなかったため、男女の平均か、男女それぞれの数値のことか確認をしたいです。

もう1点、19ページ「ともに支える」の「ワークライフバランスの推進」で、“災害に強い社会の実現のための男女共同参画の視点から、災害対応の啓発～”とあります。また、「ともに守る」の14ページに「安全安心なまちづくり」ということで“防災や減災、縮災の対策の推進～”があるのですが、男女共同参画の視点もここに加えたらどうかと思います。

併せて、多文化共生でも安心して暮らせることのベースは安全だと思います。出雲市はブラジル人が多いですが、ブラジルでは全く地震がないそうです。地震だけではなく、災害があった時どうしたらいいかわからないことが多い現状があると思います。広報活動はされていると思いますが、安全安心のまちづくりの中に男女共同参画の視点や、多文化共生の視点を入れる等、啓発活動のことも入れてはどうかと思いました。以上です。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

落合委員のおっしゃるように、「ともに守る」の視点も重要であると思いますので、先ほどのご意見を参考に作り込みをしたいと思います。

事務局（安食総合政策部次長）

一つ補足させてください。先ほど落合委員が聞かれた健康寿命の延伸の1年について、これは男女ともに1年をめざしたいと思っています。我々男性にとって非常に厳しいというのは承知しておりますが、男女関係なく1年をめざし、健康寿命を延ばし、人生100年時代をめざす。そういった意気込みということで、男女とも1年と設定をしました。よろしくお願いします。

山本 富子委員

「ともに支える」でバスが出てきましたが、教育バスや温泉バス、空港バスも出雲市内を走っています。その辺も縦割り行政ではなく、企業と連携してはどうでしょうか。科学館に各小学校中学校からバスが行きますが、そのバスに地域の人と一緒に乗れたのなら地域の子どもの見守りにもなるでしょうし、そういった「ともに支える」もあると思いました。

それと、出雲ブランドについて、宍道湖中海がラムサール条約に登録されていることも加えていただきたいと思います。以上です。

事務局（安食総合政策部次長）

交通については担当課と考えさせていただきます。

ラムサール条約については、圏域市長会の方でも重要視し取組を進めていますし、記載をする方向で行きたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

吉田 美智子副会長

26ページ「ともに楽しむ」の中で、芸術文化振興を載せていただいております。この文章読むと、長い歴史と伝統、有形無形の文化遺産に基づいた芸術文化活動というような見方ができるのですが、私たちの芸術文化振興については、出雲アカデミーを中心として様々な音楽活動が展開をされているため、「音楽のまち」も入れていただきたいかなというふうに思います。

そして、芸術文化はコロナ禍にあっても、心に余裕と潤いを与える“楽しむ”というキーワードが大事だと思います。文中に“芸術文化活動を検証し〜”となっていますが、検証というのは、誰が検証し、検証結果をどうするのか。芸術は自由な活動ということが基本にあると思うのですが、検証はどうかと思いました。何より、誰もが気軽に芸術文化に触れる機会の提供が求められているので、クラシックや伝統文化だけではなく、誰もが気軽に楽しめる機会の提供という言葉もあればいいと思いました。もちろん前段も大変重要なことだと思っておりますが、「楽しむ」というキーワードであれば、市民が気軽に楽しめる場の提供という言葉が欲しいと思いました。

そして「ともに結ぶ」の16ページ「滞在型観光とインバウンドの促進」に入れていただきたいのですが、今、オリンピックにちなんで日本博が開催されています。市内には、美術館、博物館などのたくさんの展示施設があり、それを有機的に結びつけて紹介しています。本来であればインバウンド向けでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により困難となりました。展示施設は出雲市にとっても財産だと思っており、展示施設の周辺には観光スポットもありますので、展示施設の連携や芸術文化を広く発信していただければと思います。

「ともに育む」23ページ「ふるさと教育の充実」の中で、ふるさと教育がどのように定義されているかわからないのですが“誇りと愛着を持つ〜”とありますので、“地域の伝統文化など”という言葉を入れていただければわかりやすいのかと思いました。ふるさと教育という定義が許されるならば入れていただければと思います。

事務局（杉原政策企画課課長補佐）

吉田副会長の方から大きく3つ、ご意見頂戴しました。

まず26ページの芸術文化振興ですが、おっしゃる通り、出雲は音楽のまちです。歴史も長い音楽のまちですので、誰もが気軽に楽しめる芸術活動ということも含め入れたいと思います。それから「芸術文化活動を検証し」について、担当課も含めて確認したうえで、もっと自由なものであるはずということはおっしゃる通りでございますので、その表現を修正していきたいと思っております。

広報について、情報発信の中に芸術文化の記載がないことはおっしゃる通りですので、その視点を入れ込みたいと思っております。

それから23ページ、ふるさと教育についても表現が曖昧なところがありますので、具体的におっしゃった「地域の伝統文化など」を含めたふるさとに愛着を持てる取組ということで表現を見直したいと思います。

山根 善治委員

新しい農業の関係で、11ページ「農林水産業の活性化と担い手育成」、農業の振興が書いてあります。書いてあることは良いですが、この10年で農業のあり方は、相当様変わりしたところですよ。農家の人数もそうですが、大型化、機械化、ITを使ったスマート化もされたところですよ。こういったことを入れ込んだ文章にしていきたいということ。また、これから8~10年度どういう農業になるかということも我々が想像できないぐらいの変化が起こると思います。そういった中で、環境の保全ということだけではなく、新規農業者の確保等をめざすならば、やはり基盤整備や土地の整備、土地の確保、こういったことも盛り込んでいただきたい。また、できた農産物は出雲ブランドの商品ということもあり、農業者だけではなく他の事業

者とのマッチングも含めた色々な取組をしていかなければならないと思っていますので、こういったものも盛り込んでいただけたらと思います。以上です。

事務局（安食総合政策部次長）

ありがとうございました。農業の分野については、先ほどご指摘があったように、スマート農業、マッチング、大型機械、基盤整備、そういった部分についても農業担当と一緒に検討させていただければと思いますので、よろしくお願いします。

北村 功委員

ITという切り口から、ひとつお願いがあり提言させていただきます。21ページ、「デジタルファーストの推進」がありますが、IT技術も含め9ページの6つの方策のすべてにマルがついています。ITは、全産業にとって今後必要不可欠になってくるものだと思いますし、5ページにある「持続可能なまちづくり」を実現するうえで、“市民サービスのデジタルファースト、まちづくり、産業観光～”とありますが、これらを下支えするものです。我々の業界は横文字ばかりで、どういうふうに噛み砕いていいのかわからないですが、デジタル人材やDX人材の育成は、我々の業界だけではなく全産業で必要なことだと思っています。それをうまく表現し、出雲地域、全産業の中におけるデジタル人材、DX人材を発掘、育成することが今後の持続可能な出雲市につながってくると思います。ITは割と就職希望がありますので、IT業界で担い手を確保するというより、人材を育成するという観点で項目を付け加えていただけたらいいかなと思っています。以上です。

事務局（安食総合政策部次長）

おっしゃる通り、ITによるデジタル人材、DXはどの分野でも重要視されています。先ほどお話ありましたように、農林水産業の分野だけでなく、製造業、観光産業、交通分野、それから都市部・中山間地域問わず、こうした技術はこれから本市の発展を左右するものだと思います。そういった分野についても盛り込みたいと思います。

板垣 成二委員

12ページ「企業立地の促進」の産業基盤について、ここに“斐川地域の新工業団地整備、日御碕サテライトオフィス事業を推進します”と書いてあります。これは既に事業化が決定しているもので、どんどん進めていかなければならないと思っていますが、ここで“推進します”ということで終わっています。そうすると、基本構想の中でこう書いてある他にはない、という受けとめにもなりかねません。と言うのも、令和6年度（高速道路）開通ということで湖陵に工業団地をというような話もあります。なおかつ、佐田・多伎・湖陵の自治協会からこの構想に入れていただきたいと要望が出ています。日御碕サテライトオフィス事業が、特に中山間地域でIT関連の事業に持ってきやすいということもありますし、空き家を活用するというようなこともあります。具体的に書くかどうかは別として、そういったこともできるような含みを持たせた表現にいただければと思います。

それから15ページ「移住促進、定住促進、結婚支援」の“移住促進住まいづくり助成”、“子育て世帯・新婚世帯のUIターン支援”、“過疎地域等への定住促進住まいづくり助成”について、どちらかという今

やっている事業がそのまま書いてあると思います。これは単年度ではなく、前期3年、後期5年の8年間の計画ですので、事業は検証しながら内容を変えていくことがあっておかしくありませんので、もう少し含みを持たせた表現にしたほうが良いと思います。以上です。

事務局（安食総合政策部次長）

板垣委員がおっしゃるように基本構想ですので、この構想の縛りが誤解を生むことは非常にまずいので、表現につきましては見直しをしたいと思います。それと併せて、移住の所の具体的すぎる内容については、構想になるような形で表現を改めたいと思います。どうもありがとうございました。

福島 沙織委員

11ページ「出雲ブランドと特産品開発」とありますが、ふるさと納税についてもこちらに記載されてはどうでしょうか。私が千葉に住んでいた時、夫の出身である出雲と私の出身の秋田にふるさと納税をしようと思いつけていたのですが、出雲も秋田もおいしいものがたくさんあるはずなのに、他の市町村と比べてラインナップ数が非常に少なく、もったいないと思った記憶があります。「おいしい出雲」というブランディングで特産品を開発するのであれば、ふるさと納税で県外にもPRし、県外に住んでいる出雲出身の方に納税してもらおうとふるさと納税の良い仕組みが回っていくと思います。中山間地域にもおいしいものがたくさんありますし、そういった形でのPRが効果的かと思いました。

10ページ「ともに創る」のイラストについて、まだラフ画とあったのですが、気になったのは、農業に関するイラストが含まれていない。農業に関するイラストが入っていれば良いと思いました。

5ページ「3つの基本理念」について、前回から修正され非常にわかりやすくなったと思っています。ただ、「地域の魅力を生かしたまちづくり」の「生」という漢字が使用されており、この言葉だと生かす・殺すが連想されるため、活用の「活」が良いのかなと思いました。調べたところ、常用漢字ではないため、「生」かすという言葉を使っているのかなと思ったのですが、26ページ「芸術文化振興」の2段目の末端に“この特色ある歴史を活かした芸術文化活動”と、ここでは「活」が使われており、同じく26ページの「生涯学習の推進」の“本市の地域特性を活かし～”こちらでも「活」が使われています。どちらにせよ統一したほうが良いかと思います。

事務局（杉原政策企画課長補佐）

最初におっしゃったふるさと納税の件、確かにふるさと納税の視点が入っておりませんでした。こちらに入れた方がいいのか、26ページの魅力発信とも関わる部分がありますので、検討し入れさせていただきたいと思います。

10ページのイラストですが、現在空白になっている部分に入れ込む予定です。まだ完成版ではございません。失礼しました。

それから5ページ“生かした”について、こちらについては確かにおっしゃる通りですが、一方で「生」の漢字を使う場面もあるため、確認してから修正したいと考えております。

高砂 明弘委員

11ページ「森林経営推進と林業担い手の育成」について、出雲地区は森林が全体の60~70%を占めている場所です。それだけあるのに、森林のことについてあまり書いていないと思うのが、本音です。

森林環境譲与税、これもしばらくすると皆さんからいただくことになっているのですが、これだけ森林が多く、日本全体では70%が森林と言われています。これだけ大きな土地を持ちながら、将来にわたって「森林」という文字が出てこないです。もう少し森林に対する内容を強く訴えてもらいたいと思います。

今、高校生といった次世代の担い手に森林に携わるためのアピールはしていますが、森林が自分の生活に直接的に入っていないため、もう少し森林に対することをアピールしていただければいいなと思っています。以上です。

事務局（安食総合政策部次長）

おっしゃるように、森林というのは本市の面積の7割占めることもあり、斐川の築地松も含め、脱炭素の取組についても森林の分野は非常に重要になって参りますので、もう少し追記していきたいと考えています。よろしくをお願いします。

山本 富子委員

高砂委員がおっしゃったように、森林は出雲市の60~70%を占めます。今、環境の分野でもゼロカーボンシティと唱っていますが、バイオマスプラスチック、セルロースの代わりに竹を加工する等そういった企業も出てくるといいなと思います。

それと、福島委員がおっしゃった出雲ブランドの特産品の開発について、宍道湖のワカサギやアマサギが取れなくなってきたことが全国からも注目されているので、ワカサギの復活を目標に掲げてもらえないでしょうか。

事務局（安食総合政策部次長）

おっしゃる通り、森林の部分についてはもう少し考えさせていただきたいと思っています。

宍道湖については、本市も斐川地区が面しておりますので、担当課含めて話し合いをさせていただきます。

三吉 庸善会長

終了の時間も迫ってきておりますが、これだけはということがありましたらいかがでしょうか。

《意見なし》

本日は、たくさん貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。次回の会までにまとめていただき、また大いに計画に入れていただければと思っていますので、よろしくお願いいたします。

ここからは事務局の方から、今後のスケジュール等につきましてご案内をお願いいたします。

4 その他

今後の策定スケジュールについて事務局より説明

事務局（杉原政策企画課長補佐）

私から今後のスケジュールをご案内いたします。第4回総合計画審議会につきましては、5月27日を予定しております。ご予定のほどよろしくお願いいたします。

第2回総合計画審議会の際、公聴会を2月下旬から4月の頭と申しあげましたが、自治協会やコミュニティセンターと協議・検討した結果、公聴会は4月下旬から5月下旬に開催したいと思っております。それを受け、空欄にしていたエリア別ベース将来像も書き込み、今度の5月27日の総合計画審議会にお諮りさせていただければと思います。

その後、6月にパブコメを募集し、第5回の総合計画審議会を7月半ばに開催予定としています。そして、7月末答申、9月議会に基本構想として議案に出すというスケジュールとと思っていますので、よろしくお願いいたします。以上です。

三吉 庸善会長

はい、ありがとうございました。

ご案内いただいたように、次回の審議会はしばらく先ですが、非常に大事な審議会なので、それまでの間に、もし気がつかれたこと等ありましたら事務局へご意見をいただき、次回の審議会に入らせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

では、事務局にお返しさせていただきます。

事務局（安食総合政策部次長）

三吉会長、そして委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。

今後の総合振興計画策定に向け、ご審議いただいた内容や今後の計画に関する事、また、本日语り尽くせなかったこと、何でも構いませんので、ご意見があればお寄せいただきたいと思っております。ご意見をいただく記入様式につきましては、既にお送りしていますが、特に様式にこだわっていませんので、メール、FAX等でお答えいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

先ほど事務局が申しあげたように、次回の第4回総合計画審議会は5月27日を予定しております。よろしくお願いいたします。

本日はハイブリッド開催ということで、審議会初めての対面とオンライン併用の形式でした。若干、事務局の不手際もありご迷惑をおかけしました。我々もこういった会議形式に慣れていきながら皆さんと一緒に計画を作って参りたいと思っております。本日は大変お忙しい中ありがとうございました。